



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第667回例会 3月 28日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 池田龍郎 山下俊彦
- 点鐘: 近藤 雅彦
- 議事: 15周年担当委員会「15周年記念式典開催に向けて」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)
出席数 61名 出席率 77, 22%
前々回出席率 86, 08%

■会長挨拶

報告が遅くなりましたが、1月に静岡のグランシップで2620地区主催の職業奉仕セミナーがありました。実はその月のロータリーの友で前橋RCの本田さんの「職業奉仕はロータリーの根幹か?」という記事が掲載されていました。読まれた方も多いのではないかと思います。要点を言いますと職業奉仕がRCの根幹と言われていたが今や、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5大奉仕の一つであるという内容です。

静岡で開催された職業奉仕セミナーでは、生子ガバナーを初め、ご挨拶された積パストガバナー、実際に講師をされた佐賀南RCの駒井さんも、この記事の否定から話が始まるというちょっと異例なセミナーでした。講師の駒井さんという方は2740地区の職業奉仕委員長を経験された方で、数年後にはガバナーに就任される方との事です。印象深かったのはロータリーとライオンズの違い I serve と we serve の違いということをお話しされ、ロータリーが他の組織と違うのは職業奉仕という理念を根幹に持っているからで、もし、それが軽視されるようになったら、ロータリーらしさが分からなくなってしまい他の団体と区別のつかない単なる慈善団体になってしまうとおっしゃっていました。先週もお話ししましたが、職業奉仕とは会社として寄付したり、奉仕活動をするのではなく、当クラブの定款には職業奉仕を「事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる業務に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的をもつ」と書かれています。

ちょっとわかりづらい文章かもしれませんが、私なりの解釈では「高い倫理観をもって自分の職業を全うし、その結果得られた商品やサービスが社会に受け入れられると

いうことが、職業を通じた奉仕。」と、もう少し砕けた解釈するならば「職業奉仕とは高い倫理観を持って会社の業績が良くなること」とするとちょっと砕けすぎでしょうか? 私としてはどちらのご意見が正しいとか間違っているとかを判断することはできません。ただ、駒井さんがおっしゃったように職業奉仕という理念がRCを特徴づけているというのはその通りだなと感じた次第です。

■幹事報告

1. 4月のビュー広場のテーマは「入学式、又は、旅立ち」
2. 例会終了後、第9回役員・理事会を開催致します。
3. 米山記念奨学会から、野田みよ子会員に奨学生のカウンセラーの委嘱状が届いております。
4. 松本好司さんが3月末付で当クラブを退会されます。

■松本好司パスト会長退会挨拶

70歳を迎えるにあたって、社長も引退して、次のステップに進むことにしました。

ハッピーバースデーの占いで私はチャレンジ精神が旺盛、ポジティブで打たれ強く、人

間関係の中で生きていき、生涯現役とありました。今回ロータリーのバッチを外すことになりましたが、その志は持ち続けたいと思っています。また、ロータリーに別れは無いと思いますので、今後ともよろしく願います。15年の間ありがとうございました。

■スマイル

松本好司、熊谷真一、安間孝明、原田道子

■ハッピーバースデー

小田木基行、青山素久、野田みよ子、高貝亮、熊谷真一、村井睦彦



議事：15周年記念式典開催について 担当：15周年担当委員会 議事進行：鷲津有一

青山 素久 委員長

来る5月27日(土)に15周年記念式典ならびに懇親会が開催されます。本日はこれまでの経緯、今後のスケジュール、当日の内容につきまして、みなさまと情報を共有したいと思います。今年度近藤会長の肝いりの事業ですので、成功させるようご協力をお願いします。



近藤 雅彦 会長

竹は節目が無いと真っすぐに伸びずに曲がってしまうそうです。これは、会社、クラブ運営にもつながるものと思います。周年事業はお金も手間もかかりますが、これをきちんとやることで私たちのクラブが真直ぐに伸びていくことができると思いますので、皆さまのご協力をお願いします。

河村 公隆 副委員長

15周年記念事業のこれまでの経過とこれからのスケジュールについてご説明いたします。

<実施事業>

2016年12月4日 松の植栽事業実施

2017年2月7日 第1回15周年実行委員会開催

2月20日東小学校にて正木先生による「松の授業」開催

<予定事業>

5月17日 東小学校にて「松の植樹事業」開催予定

5月27日 記念式典及び懇親会開催予定

集合：15時ごろ予定、受付：16時30分

記念式典：17時～（会場：コンgresセンター 43 会議室）

祝宴：18時30分～（会場：オークラ 3 階フェルシーの間）

祝宴中締：20時予定

来賓お見送り完了後、集合写真撮影

鷲津 有一 委員

松の植栽事業のビデオがあります。この映像はYouTubeにアップしてありますので、そちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=JfOi45szXbo>

高貝 亮 部会長

植樹事業を担当しています高貝です。この植樹事業は5月17日の記念植樹だけではなく、東小学校の校長先生に例会に来ていただきお話をさせていただいたり、東小学校100周年の時に6年生となる生徒たちに東小学校で「松の授業」を開きました。本事業は財団プログラムの未来の夢計画の一環となりますが、色々な事業を実施するトレーニングとしての位置づけと考えております。外の団体との連携および調整は非常に難しいところがあります。実は本事業を推進してきていただいた東小学校の教頭先生が3月末で異動になってしまいました。新任の教頭先生と話を進めなくてはならなくなりました。こちらの事情を押し付けるわけにはいかないので、一からご説明しなくてはならなくなりましたが、5月17日の記念植樹が滞りなく進めていけるように準備いたしますので、当日のたくさんのご参加をお願いします。



近藤 雅彦 5周年総務部会長、10周年実行委員長

5周年記念は認知症サポーター養成講座を1000人規模で実施しました。オークションを実施して、認知症サポーターのための基金を集めました。

10周年記念はねむの木学園とコラボレーションをしました。300～400人集客しました。それとは別に100名の増強を掲げました。結局、20名程度しかいかなかったのですが、増強が目的ではなくて、会員全員が勧誘することで、会員自身がパワー浜松のことを知ることができました。今回の20周年記念事業のためにも今回の事業を見ていただければと思います。

